

若年性認知症支援者研修

目的

若年性認知症は、いわゆる現役世代が発症するが、若年性認知症に対する認識が不足し、診断される前に症状が進行し社会生活が事実上困難となるケースや、本人やその家族、企業及び医療機関が若年性認知症を知っていても、活用が可能な福祉や雇用の施策があまり知られていないことなどから、経済的な面も含めて本人とその家族の生活が困難になりやすいことが指摘されている。

若年性認知症の人に対して、発症初期から高齢期に至るまで本人の状態に合わせた適切な支援が図られるためには、医療、介護、福祉、雇用の関係者が連携することが重要となる。

若年性認知症の人の支援に関係する障がい福祉サービス従事者や企業関係者等の支援に携わる人を対象とし、若年性認知症の人に対する日常生活上の支援、就労上の支援等のために必要な知識・技術を習得することを目的とする。

実施内容

- ・ 若年性認知症の医学的な理解及び特性を踏まえた支援方法について学ぶ。
- ・ 大阪府若年性認知症支援コーディネーターの活動を通じた事例として、支援の対象となった当事者、家族及び連携した各機関からの報告を紹介する。
- ・ 講義、事例紹介を踏まえ、自地域において、若年性認知症の人やその家族を支援していくためのネットワーク構築について考える。

開催場所・日時等

日 時：平成29年1月27日（金）10：00～16：00

場 所：大阪府庁新別館南館8階 大研修室（大阪府中央区大手前3-1-43）

人 数：100名

対 象：市町村職員（高齢福祉担当課、障がい福祉担当課）、障害者就業・生活支援センター、障害者就労支援事業所、障害者就労継続支援事業所、障害者職業センター、ハローワーク、産業医、認知症地域支援推進員、地域包括支援センター等

申 込：メール又はFAXで受付。

締切り：平成29年1月23日（月）まで

カリキュラム

時間	内 容	講 師
10:00	開会あいさつ	介護支援課長
10:05	【講演】 医療の視点から～若年性認知症の特性を踏 まえた支援について	大阪市立弘済院附属病院副病院長 認知症疾患医療センター長 中西 亜紀 氏
12:05	休憩	
13:10	【実践報告】 大阪府若年性認知症支援コーディネーター の活動を通じた事例紹介 ○ 就労継続を目指して企業の産業保健師と の連携～当事者、家族及び障害者職業セ ンター、企業の産業保健師等の各機関か らの報告 他 【グループワーク】 講義、実践報告を聴いて、自地域において、 若年性認知症の人やその家族を支援してい くためのネットワーク構築について考える。 【若年性認知症の人の居場所の紹介】 (休憩 10分を含めて 160分)	【進行】 NPO 法人認知症の人とみんなの サポートセンター 代表理事 沖田 裕子氏 (大阪府若年性認知症支援コーディネーター)
15:50	閉会、連絡事項	介護支援課
16:00	終了	